

方言って楽しい！

各地の南部弁を聞き比べ

正部家種康忌 第10回 南部弁の日

—南部弁さみっとin八戸2022—

方言で地域の文化と伝統を語り伝える1日。

今年は、十和田から遠くは岩手県釜石までの様々な南部弁と津軽弁による昔コ（昔話）を、たっぷり楽しめます。

1年の締めくくりに、県内外どなたさまも歓迎の「南部弁の日」、是非、ご来場ください。

第10回 南部弁の日 —南部弁さみっとin八戸2022—

2022年12月3日（土）13:30～15:30

八戸市江陽公民館（八戸市江陽二丁目18番34号）

※無料 ※50名まで（新型コロナ対策のため）

※Zoomでの同時配信もします。ご希望の方は11月25日（金）

までに申し込んでください。

<https://forms.gle/aM3fFqT1hQYVp1Y18>

出演者（予定）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 紙芝居「南部昔こ・正部家種康作」 | 7. 佐々木和子（五戸・八戸童話会） |
| 2. 関下 斉（八戸・八戸童話会） | 8. 下坪利都子（八戸・八戸童話会） |
| 3. 千葉涼子（津軽・北の会） | 9. 大柳悦子（種市・八戸童話会） |
| 4. 三橋光子（津軽・北の会） | 10. 阿部智留恵（十和田・こま草の会） |
| 5. 北村弘子（釜石・漁火の会） | 11. 上條佳子（八戸・八戸童話会） |
| 6. 千葉まき子（釜石・漁火の会） | 12. 梶谷伸夫（八戸・八戸童話会） |

司会：今村かほる（弘前学院大学文学部）・小島聡子（岩手大学人文社会科学部）

【会場へのアクセス】 中心街からバスを利用する場合

中心街ターミナル1番のりば（三日町）より市営バス「ラピア・舟見町行（工業高校前経由）」

「ラピア」下車 徒歩6分

中心街ターミナル2番のりば（八日町）より市営バス「ラピア行（栄町経由）」

「ラピアバスセンター」下車 徒歩3分

* 演目や出演者については、コロナウイルス感染拡大状況によっては、変更する可能性があります。

* 手指の消毒、マスクの着用をお願いします。

主催：南部弁の日実行委員会

共催：文化庁、弘前学院大学（消滅の危機にある方言の記録作成及び啓発事業「発信！方言の魅力 語るびや語るべし青森県の方言2022」）、岩手大学（「おらほ弁で語っぺしプロジェクト」）

後援：青森県教育委員会・八戸市教育委員会

連絡先 〒036-8577 弘前市稔町13-1 弘前学院大学内 南部弁の日実行委員会事務局 電話 0172-34-5211

e-mail 274hougen@gmail.com

